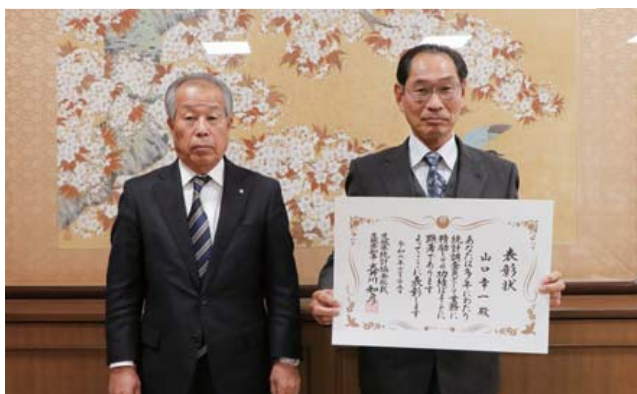


## 2/3 (月) 統計調査の第一線で活躍 茨城県統計協会総裁より表彰



長年にわたり統計調査員として各種統計調査に尽力されている山口幸一さん（木部）が、茨城県統計協会総裁より表彰され、小林町長より表彰状が伝達されました。

統計調査員とは、世帯や事業所等の調査対象を訪問し、調査票の記入依頼や調査票の回収・点検といった統計調査において最も重要な役割を担っている方です。山口さんは、平成17年より国勢調査や農林業センサスなどの統計調査に計9回従事され、その功績が大きいことから、受賞となりました。

## 2/14 (金) 手と手で語り合い、心を伝える 手話奉仕員養成講座 (入門課程) 閉講式



令和6年度茨城町手話奉仕員養成講座（入門課程）閉講式が、町駒場庁舎にて行われました。

茨城町聴覚障害者協会の聾講師による厚生労働省認定手話奉仕員養成カリキュラム入門課程（全28回）の講座を受講した7名の方は、最終講座で手話による「スピーチ」と「手話劇」を表現豊かにを行い、一年間の成果を発表しました。

受講者は積極的に講師と手話で話し、熱心に学び、聴覚に障がいのある方に対する理解を深めました。講座を振り返り、「他の受講者たちと互いに励まし合いながら受講して楽しかった。」「この講座で聾者と出会い、手話を学び、視野が広がった。一緒に学習できてとても楽しかった。」などの感想がありました。

修了者の皆さんは、さらなる手話技術の向上と聴覚に障がいのある方への理解を深めるため、令和7年度に開講する基礎講座を受講する予定です。

## 1/25 (土) 日本の伝統文化に触れて 茨城町国際交流協会 「新春お茶会」開催



茨城町国際交流協会主催「令和7年新春お茶会」が、桜の郷コミュニティセンターで開催されました。

当日はアメリカ、イギリス、ラオスなど様々な国の方が参加され、日本の伝統文化と一緒に体験しました。初めて触れる茶席の作法に戸惑いながらも、和やかで楽しいひとときでした。

他にも、折り紙や生け花の体験があり、参加した地域の小学生（9歳）は、「いろんな国のの人たちと一緒に体験できて楽しかった。」と、茶席で提供された色鮮やかな主菓子おもがしを頬張りながら話していました。

## 2/12 (水) 尽力された功績をたたえて 町村会民間自治功労者表彰



県内各町村の発展に顕著な功績のあった方々に対し、茨城県町村会において令和6年度民間自治功労者表彰が行われました。町からは、荻津和良さん（写真中央左）と佐藤勇さん（写真中央右）の2人が、民間自治功労者として表彰されました。

荻津さんは、平成15年に茨城町身体障害者福祉協議会（ひまわり会）の会長に就任され、現在では、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会の副会長を務めるなど、障がいの有無に関わらず暮らしやすい社会づくりのために貢献されています。

佐藤さんは、茨城町商工会役員として18年にわたって活躍し、平成30年から令和6年まで商工会会長を担っていました。また、水戸法人会茨城地区会の理事も務めており、地域法人の育成および企業・社会の健全な発展に寄与されています。

## 11/22(金) 1/29(水)・31(金) 青葉小5年生 総合的な学習の時間で 食と農業の大切さを知る 食育・地産地消体験学習

青葉小学校では、毎年5年生が様々な食育・地産地消体験学習に取り組んでいます。令和6年度は、総合的な学習の時間を使い、平澤協一さん（ひらさわファーム代表、茨城町農業者会議会長）の所有する畑でキャベツ収穫体験を行いました。

収穫体験の前には平澤さんから農業についてのお話があり、町内の農産物の収穫・流通・販売までの流れや、昨年の夏の暑さが農産物の生育に大きな影響を与えたこと、収穫する際の刃物の取り扱い方などを学びました。各自収穫したキャベツは持ち帰り、各家庭でキャベツ料理のレシピを制作。その後、校内でレシピコンテストが行われ、工夫を凝らした素晴らしいメニューが集まりました。

また1月には、平澤さん、茨城町生活改善クラブ連合会（照山友子会長）協力のもと、調理実習が実施されました。献立は、鍋で炊くご飯と、煮干しから出汁を取って作る味噌汁です。班ごとに持ち寄った野菜や、平澤さん提供の白菜、町生活改善クラブ連合会提供の手づくり味噌を使い、様々なオリジナル味噌汁ができました。

児童たちは、野菜の切り方やご飯の炊き方などの質問をしながら、積極的に調理に取り組みました。自分たちの手で炊いたご飯、オリジナルの味噌汁の味を楽しみ、「苦手な野菜も食べてみた。」「給食前だけ2回おかわりした。」とたくさん笑顔が見られました。

最後に、キャベツレシピコンテストの表彰式が行われ、入賞者には平澤さんから白菜がプレゼントされました。

気候変動や資材等の値上がりに伴い、米や葉物野菜の価格が上がっている昨今、農業に関心を持ち、食の大切さを知る素晴らしい体験となりました。



キャベツ収穫体験の様子



生活改善クラブの皆さんと調理実習



5年生の皆さんが作成した農産物や食に関わるパンフレット・ポスター

## 1/29 (水) より良いまちづくりに向けて 中学生の提案 青葉中3年生「豊かな茨城町」への研究発表

青葉中学校の3年生が、総合的な学習の時間の一環として、「豊かな茨城町にするためにはどうすればよいか」という課題について班ごとに研究し、成果を発表しました。

発表会には小林宣夫町長、矢口和美教育長をはじめ町職員が出席し、6つの班が「町の魅力を伝えるためにマスコットを考案し、生徒がSNSを利用して全国に広める」、「特産品の販売を促進するため移動販売を行う」、「地元農産物を使った外国人向けの料理コンテストを開催する」など、様々な提案を行いました。発表にはタブレットや電子黒板、写真・動画データなどが活用され、班ごとにわかりやすく伝えるための工夫が凝らされました。

小林町長からは、「中学生らしい自由な発想があり、斬新な研究成果だった。今回の発表内容を参考とし、町を発展させ、より良いまちづくりを進めていきたい。」と研究の成果を称えました。発表を行った生徒は、「自然体験学習や修学旅行を通して他の県の良い所を知り、それをもとにどうしたら茨城町がより豊かになるか、様々な視点で作成した。茨城町を思う気持ちが高まった。」と感想を語りました。



かわいいマスコットで町をアピール！



司会進行もすべて生徒たちが行いました